

【年末年始のご挨拶】

理事長より感謝と新年のご多幸を祈念して

一年を振り返って

令和7年も、いよいよ暮れを迎えようとしております。

本年も格別なるご支援とご高配を賜りましたこと、まずもって心より御礼申し上げます。

我々聖母の家としての使命は、知的障害をお持ちの方々が、その人らしく、尊厳をもって日々を過ごせる環境を整えることでございます。

本年も、職員一同、日々試行錯誤を重ねながら、利用者の皆様の笑顔と成長を第一に取り組んでまいりました。

ご利用者・ご家族への感謝の念

日々の支援は、施設内だけで完結するものではありません。

ご家族の皆様の深いご理解とご協力があってこそ、私たちの取り組みが実を結んでおります。

この一年も、幾度となくご助力を賜り、心より感謝申し上げます。

また、日々の変化の中で、ご不安やご心配も多々あったかと存じます。

それらに真摯に向き合い、少しでも安心してお預けいただける施設づくりに努めてまいりました。

職員とともに歩んだ一年

今一度振り返れば、本年も数多くの行事・出来事がございました。

その一つひとつの場面において、利用者の皆様の成長と、職員の寄り添う姿勢が印象に残っております。

人材不足や福祉制度の変化といった課題はあれど、互いに支え合い、助け合うという福祉の本質を再認識する一年でもありました。

来る年に向けての抱負

令和8年も、引き続き「信頼と安心の福祉」を礎に、利用者・ご家族・地域社会の皆様との連携をより一層深めてまいりたいと存じます。時代の変化に柔軟に対応しつつも、変えてはならぬ価値観——すなわち、人を敬い、共に生きるという精神を大切に歩んでまいります。

結びに際して

皆様におかれましては、年末年始を穏やかに、健やかにお過ごしくださいますよう、心よりお祈り申し上げます。

来る年が、皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、そして、引き続き温かいご支援とご指導を賜れますよう、伏してお願い申し上げます。

本年も誠にありがとうございました。

社会福祉法人 聖母の家
理事長 植木 存